

次世代とともに考える ハンセン病問題 人権シンポジウム

～ハンセン病問題から学ぶべきこと～

プログラム

(1) ハンセン病問題について学ぼう

ハンセン病資料館学芸員による解説と
当事者の方からのお話

(2) パネルディスカッション

ハンセン病問題を学び、偏見・差別を
なくすために何をすべきか考える



景井ひなさん

景井ひなさん
(タレント)
も登壇します！



日時・会場・申し込み

2024 **7/27** **土**

時間 / 13:30～15:30 (開場13:00)

会場 / 東京国際フォーラム ホールD7
〒100-0005
東京都千代田区丸の内3丁目5-1

交通 / JR線

有楽町駅より徒歩1分

東京駅より徒歩5分

(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

地下鉄

有楽町線：有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)

千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分

丸ノ内線：銀座駅より徒歩5分

銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分

三田線：日比谷駅より徒歩5分

会場開催(200名)と
ライブ配信(事前申込不要)
によるハイブリッド開催！



参加費無料

事前申込制

会場参加申込は
上記QRコードへ！

主催

法務省、厚生労働省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、東京
法務局、東京都人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進
センター

後援

全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国家賠償請求
訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、東京都、東京都
教育委員会、東村山市、東村山市教育委員会(順不同、予定)

※諸事情により、内容が変更となる場合もございますのであらかじめ御了承ください。

シンポジウムのねらい

ハンセン病とは「らい菌」という細菌に感染することで起こる病気です。手足の指先の神経が麻痺したり、皮膚が変形したりすることがあります。しかし、らい菌の感染力は弱く、発病することは極めてまれです。万が一発病しても、現在は早期発見と適切な治療により後遺症が残ることなく完治します。しかし、かつて採られた国の強制隔離政策により、人々の間にハンセン病は怖い病気だというイメージが作られ、ハンセン病患者・元患者やその家族の方々に対する偏見や差別が生まれ、それが今もなお続いています。

そこで、当事者やハンセン病問題に関わってこられたの方々からお話を聞き、ハンセン病問題が過去の問題ではなく「今の」問題であると認識し、その正しい知識と理解を学ぶとともに、身近な場面でも起き得る偏見・差別という過ちを繰り返すことなく、偏見・差別のない社会を実現するためにはどうしたらよいか、次代を担う皆さんと一緒に考え、実践していくためのシンポジウムを開催します。

なお、ハンセン病問題について詳しく知りたい方は、右記の法務省のウェブサイトをご覧ください。



ハンセン病問題

申込方法

WEBフォームからのお申し込みは右記QRコードもしくは下記URLよりお願いします。



WEBフォーム

URL <https://www.jinken-library.jp/news/detail/117963/>

**FAX又は郵送にてお申し込みいただく場合は、
下記の申込欄に必要事項をご記入の上お申し込みください。**

FAX 03-5777-1803

郵送 〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4階
ハンセン病問題に関するシンポジウム事務局 宛

参加者名（複数名参加の場合は連名でお願いします。）

ふりがな	年齢
氏名	小学生・中学生・高校生・専門/大学生 20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上
電話番号	FAX番号
住所 〒	

※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

※電話でのお申し込みは受け付けておりません。

お問い合わせ

ハンセン病問題に関するシンポジウム事務局
公益財団法人 人権教育啓発推進センター

TEL 03-5777-1802 (代表)

FAX 03-5777-1803

E-mail hansen@jinken.or.jp

URL <http://www.jinken.or.jp>